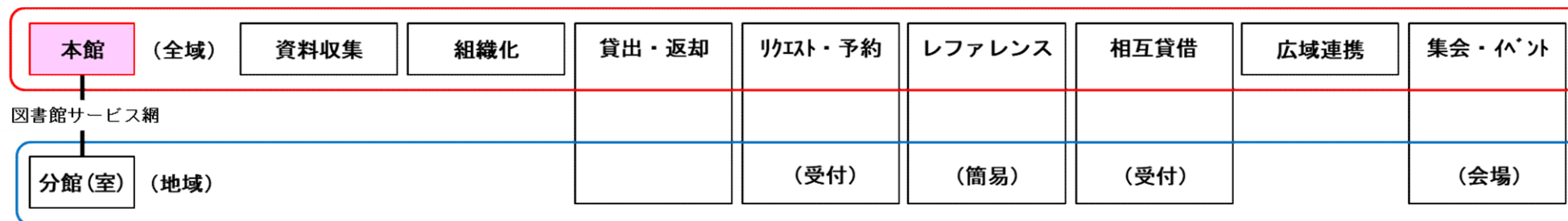


1. 上尾市図書館の本館と分館（室）の機能の考え方

- 本館は、基本的な図書サービスの提供に加え、資料の収集・整備や事業の企画・管理を一元的に行い、分館を統括するなど図書館サービス網の核としての役割を担っている。
- 分館は、基本的な図書サービスの提供に加え、図書館サービスを地域に広げる窓口としての役割を担っている。

《本館・分館機能のイメージ》



2. 図書館協議会の検討経緯

- R1. 10月 7日 第2回会議 諮問

- ▶ 現状・課題・市民ニーズの整理

- ・ 市民アンケート調査 (R1. 7月実施)
- ・ 人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について (H30年12月21日中央教育審議会答申)
- ・ 図書館の設置及び運営の望ましい基準 (H24年12月24日文部科学省告示第172号)
- ・ 本館、分館(室)の基礎資料

- R1. 11月11日 第3回会議 審議※

- ▶ 骨子の検討

- R2. 1月10日 第4回会議 審議※

- ▶ 素案の検討

① 目指すべき姿

- (1) 資料や情報の収集など基本的機能の充実
- (2) 多様なニーズに対応するサービスの提供
- (3) 教育力の向上のための支援
- (4) 時代に合わせた環境の整備

② 留意すべき点

- (1) 現状の図書館サービス網は可能な限り維持を
- (2) 老朽化が進む施設への対応は、市の他の計画などを踏まえて検討を
- (3) 運営体制の柔軟な検討と計画的な職員の育成を

- R2. 2月17日 第5回会議 審議(予)

- ▶ 答申案調整

気軽・身近・居心地の良い、時代に合った図書館へ

3. 上平地区複合施設に関する協議会の主な意見（※第3回 説明→※第4回 議論）

- 同地区に1分館という原則を崩さないようにしなければ、市民に対する公平性を欠いてしまうと思う。
- 近隣に2つあるのは無駄なので、上平公民館図書室との集約を図るべきだが、単なるサービスの並行移動でなく機能の充実が必要である。
- 子どもと一緒に過ごすことができる場所、大人もくつろげる場所であって欲しい。
- 基本的な図書館資料を配架し、複合施設のメリットも生かして、サードプレイス(家庭でも職場でもない)として空間をつくるのに良い場所である。
- 図書館を上手く使い、複合施設の強みを生かして隣接する他の施設、他部署との連携による事業の活性化に繋がると良い。
- 教育支援という観点から、ITに特化するなど特定の機能を持たせることも考えられる。

《参考》アンケートから見る上平地区の課題

- ▶上平公民館図書室では、図書資料や施設、設備に対する不満の割合が比較的高い。
- ▶上平地区では、図書館の今後の方向性として、再構築を求める回答が比較的多い。
- ▶上平地区の利用者は、上平公民館より本館を利用する方が多い。

4. 上平地区複合施設における図書館分館

- 図書館網の地域窓口である分館機能の役割を担うべく、基本的な図書館サービスの実施を前提とする。
- 複合施設の内容や規模に加え、地域の特性を考慮したサービスの実現を図る。
- 図書館協議会での審議を踏まえ、キーワードとなる「気軽」「身近」「居心地」を具現化すべく、試験的な取組やサービスを積極的に実施していく。

